

第36回臨床微生物迅速診断研究会総会

コーヒーブレイクセミナー4

# 抗酸菌の迅速診断

～検査精度向上と  
検査所要時間短縮の最新技術～

座長

豊川 真弘 先生

福島県立医科大学保健科学部  
臨床検査学科

演者

三嶋 廣繫 先生

愛知医科大学医学部  
臨床感染症学講座

2025年

6月28日(土) 15:15-15:55

会場

第1会場(2Fホール)

じゅうろくプラザ

〒500-8856  
岐阜県岐阜市橋本町1-10-11

- ・整理券の配布は行いません。
- ・本セミナーへのご参加には、本研究会への参加登録が必要です。



共催

第36回臨床微生物迅速診断研究会総会 /



東ソー株式会社

TOSOH

## 抗酸菌の迅速診断

～検査精度向上と検査所要時間短縮の最新技術～

愛知医科大学医学部 臨床感染症学講座  
愛知医科大学病院 感染制御部 感染検査室

### 三嶋廣繁

抗酸菌感染症は、結核菌(*Mycobacterium tuberculosis* complex)および非結核性抗酸菌(NTM, nontuberculous mycobacteria)による疾患である。いずれも診断の遅れが治療の成功率に大きく影響を及ぼすだけでなく、結核菌の場合には早期の感染対策導入に有用である。従来の抗酸菌培養法は比較的高い感度を有するものの、培養を含めた微生物検査に数週間を要するため、迅速診断技術の開発が求められてきた。本講演では、抗酸菌の迅速診断に関する最新の状況として、核酸増幅法(NAATs: Nucleic Acid Amplification Tests)、質量分析(MALDI-TOF MS)、次世代シーケンシング(NGS)、蛍光染色技術、免疫学的手法などを取り上げ、各技術の利点・課題を整理する。また、新たなPOCT(Point-of-Care Testing)技術の可能性についても議論し、臨床現場での活用の展望を考察する。これらの技術を適切に組み合わせることで、迅速かつ高精度な抗酸菌診断が可能となる。本講演が、抗酸菌感染症の早期診断・治療に貢献する一助となれば幸いである。